

# ほくほく線を活用した貨客混載輸送

佐川急便株式会社

2019年10月25日（金）

# SAGAWA 「ほくほく線を活用した貨客混載輸送」

## 【事業紹介】

開始日 : 2017年4月18日 (火)

共同事業者 : 北越急行株式会社 (所在地 : 新潟県南魚沼市六日町)

運行列車 : ほくほく線 - 六日町駅 (20:13発) ~うらがわら駅 (20:50着)

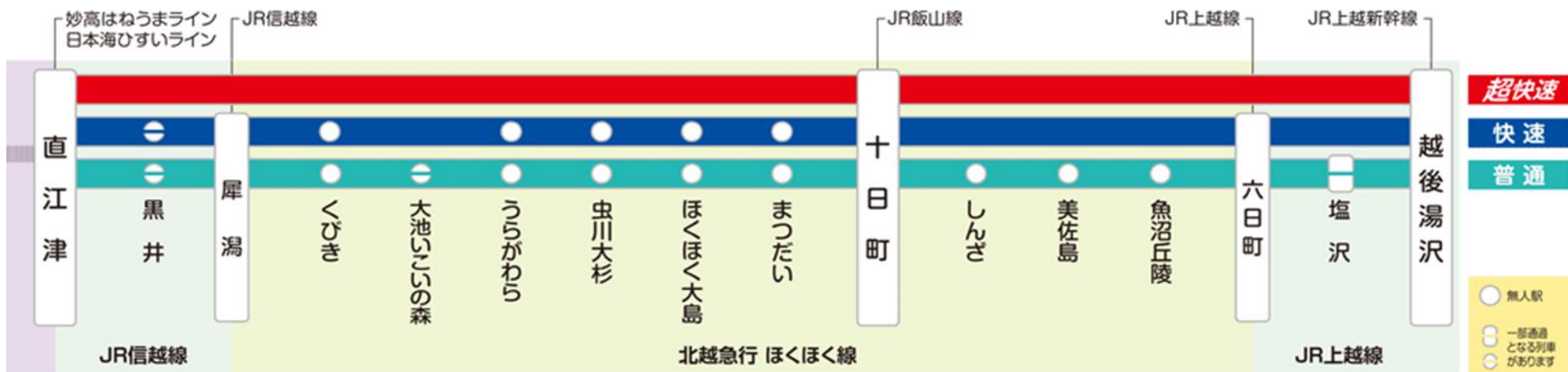
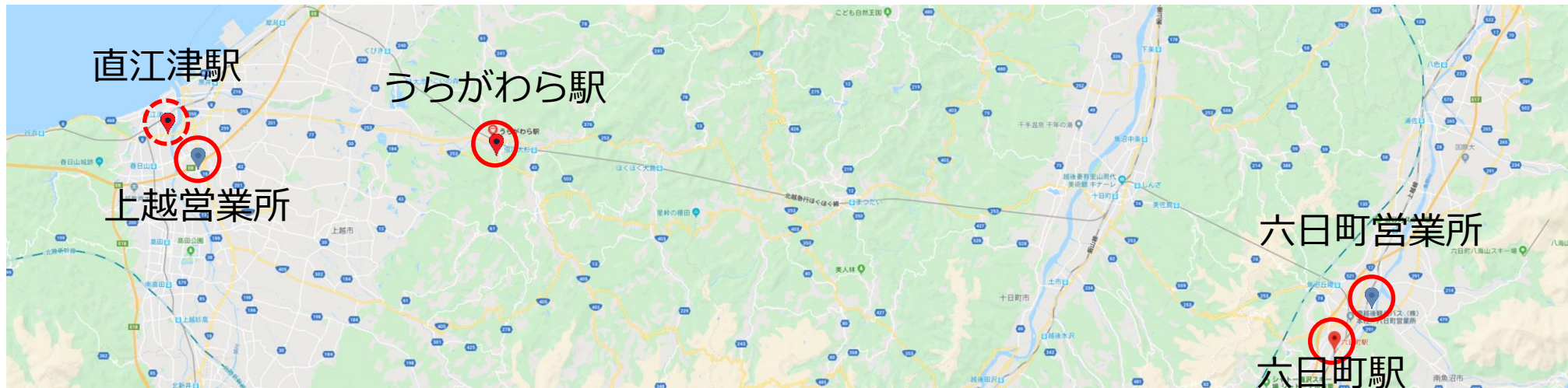
うらがわら駅 (21:09発) ~六日町駅 (21:48着)

概要 : 旅客鉄道を利用し、乗客と荷物を同じ車両に載せ目的地まで輸送を実施



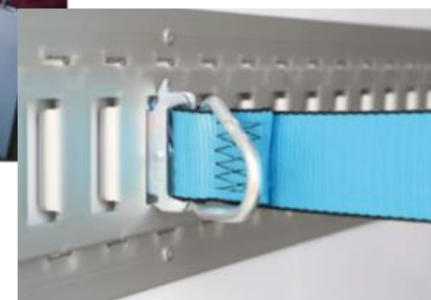
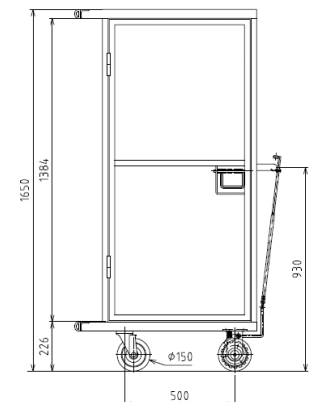
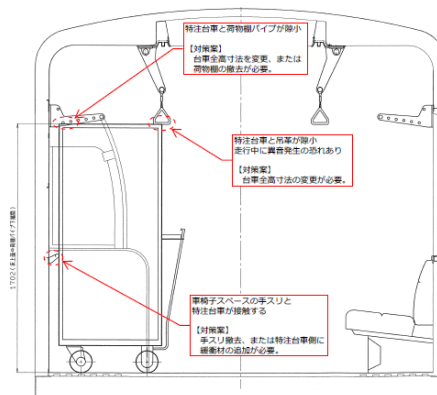
【実施場所の選定】

営業所から最も近い駅の利用が可能であれば、より効率的な運送が可能となります。貨客混載輸送を実施する上で、荷物の受渡し拠点の距離が近ければより大きな効果を生み出すことが可能です。各企業様との協議が必要となるため、実稼働までには一定の時間を要した経緯がございます。



【安全面】

荷物と乗客が同一車両に乗ることは前例が無く、安全に関する規定も設けられていない中で検討を進めてまいりました。急制動が発生した場合など、動かない・倒れない工夫が必要であり、荷物のセキュリティを考慮した結果、下記のような特注カーゴの製作に至っております。



★カーゴ[ギアロック式ストッパー、角部緩衝材]

★ラッシングレール[トラック車両内同形状]

項目	詳細
事業のメリット	<p>『ドライバー不足の対応』『働き方改革』『CO2削減効果』などトラック輸送においては営業所間の幹線輸送は、中継拠点を経由しますが、貨客混載輸送では最短距離をCO2排出量の少ない列車で結ぶことが可能になります。また、営業所間の輸送時間も短縮され、安定した荷物輸送が可能となります。更に、ドライバーの業務緩和や場合によっては、減便も可能になる事から多くのメリットに繋がります。</p>
制度等を含めた課題	<p>『安全面、輸送費、実現場所』            実例がまだ少ないため、指標となる定義（委託費等）がなく事業者間の協議に時間を要することが課題と考えております。            また、貨物の輸送はトラックへの積込み動線を主としていますが、旅客への積込みでは安全に配慮した動線の確保が必要です。現状は乗客の少ない路線で展開しており、都心部での検討は難しいと考えております。</p>
今後の展望	<p>『輸送量の拡大、地域拡大』            ほくほく線沿線では、より営業所へ近い駅での対応が望ましいと考えております。（P3記載、接続する鉄道事業者様が異なり交渉が必要）鉄道事業では、JR北海道様と実運用を開始しましたが、非常に効果が出ております。環境改善、働き方改革、省人化、効率化に繋がる運用を構築し、その他の地域においても事業化に向けて取り組んでいきたいと考えております。</p>